

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		理学療法士の多様化 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員		橋村康二、その他外部講師	実務経験と その関連資格	多様な分野での実務経験を要する臨床家が講演を行う			
《授業科目における学習内容》							
理学療法士の働き方が多様化する昨今、将来の選択肢も多様化している。本科目では、病院や施設、在宅などで活躍する理学療法士の講演を聞き、理学療法士の活躍の場について理解を深める。							
《成績評価の方法と基準》							
出席状況、出席態度、課題提出状況で総合的に評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
適宜資料を配布する							
《授業外における学習方法》							
キャリアデザイン I とリンクさせ、将来の働き方について考えてみる							
《履修に当たっての留意点》							
能動的に情報を得よう努めること							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	キャリアデザインと連動させ、興味ある分野知りたい分野を考え、質問 等考えることができる		配布資料	成果物を整理しまとめてお く	
		各コマに おける 授業予定	科目オリエンテーションを行う。今後來校される臨床家の活躍分野を説 明し、興味ある分野、また質問を考える。				
第 2 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	急性期病院での理学療法士の役割、内容を説明できる		配布資料	成果物を整理しまとめてお く	
		各コマに おける 授業予定	急性期病院で活躍する理学療法士から講話を聴く				
第 3 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	回復期病院での理学療法士の役割、内容を説明できる		配布資料	成果物を整理しまとめてお く	
		各コマに おける 授業予定	回復期病院で活躍する理学療法士から講話を聴く				
第 4 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	整形外科クリニックでの理学療法士の役割、内容を説明できる		配布資料	成果物を整理しまとめてお く	
		各コマに おける 授業予定	整形外科クリニックで活躍する理学療法士から講話を聴く				
第 5 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	介護施設での理学療法士の役割、内容を説明できる		配布資料	成果物を整理しまとめてお く	
		各コマに おける 授業予定	介護施設で活躍する理学療法士から講話を聴く				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	訪問リハでの理学療法士の役割、内容を説明できる	配布資料	成果物を整理しまとめておく
		各コマにおける授業予定	訪問リハで活躍する理学療法士から講話を聴く		
第7回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	通所サービスでの理学療法士の役割、内容を説明できる	配布資料	成果物を整理しまとめておく
		各コマにおける授業予定	通所サービスで活躍する理学療法士から講話を聴く		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ分野での理学療法士の役割、内容を説明できる	配布資料	成果物を整理しまとめておく
		各コマにおける授業予定	スポーツ分野で活躍する理学療法士から講話を聴く		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	演習実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			